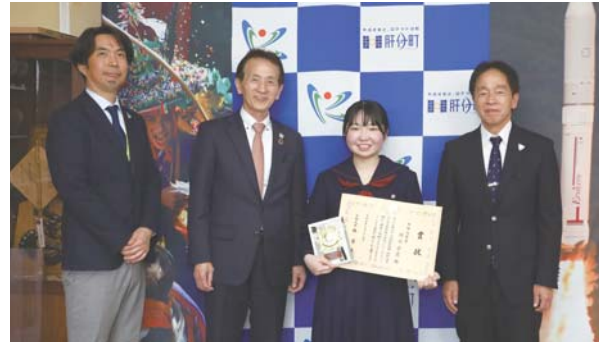


坂元愛美さん 国際理解コンクール外務大臣賞受賞

肝付町出身で鶴丸高校3年生の坂元愛美さんが、「第69回国際理解・国際協力のための高校生主張コンクール」で最高賞の外務大臣賞を受賞しました。

中学2年生の時に、肝付町の実施する海外派遣事業でアメリカに訪問したことがきっかけで英語に興味をもち、勉強を始めたという愛美さん。

4月3日に町長の元を訪れた際は、ユニセフに表敬訪問した際の話等をしながら「将来は外交関係を直すために外務省で働きたいです」と将来の夢を語っていました。



みんなの思いを寄せて JAXA 応援プロジェクト



昨年のロケットの打上げが残念な結果になってしまったことをうけ、「地元から宇宙開発を応援したい」という声が上がリ、「JAXA 応援プロジェクト」を実施しました。

5枚の布に、約800名が寄せ書きを行いました。その寄せ書きを届けるため、3月27日に、東京都内のJAXAを訪れ、山川理事長に寄せ書きを手渡しました。

山川理事長からは、内之浦での自身の経験を語られ、「イプシロンロケット6号機など、地元の方々の期待に応えられなくて申し訳ない。職員は前向きに頑張っている。地元の皆さんの応援がありがたい。」と感謝の言葉をいただきました。この寄せ書きは、JAXAのロケット開発チームに届けられるとのことでした。

内之浦地区小・中・義務教育学校 レシピコンテスト開催

3月7日、内之浦学校給食センター主催の「アイデア料理コンテスト」にてグランプリを取った岸良学園の倉一颯さんいぶきの「辺塚だいたい風味の照り焼き」が内之浦地区の学校給食でふるまわれました。

地元の魚であるカンパチを照り焼きにするのに加え、地元の特産物である辺塚だいたいの酸味にマッチするようなメニューを考えたという一颯さん。みんながおいしいと言いながら食べるのを見てうれしそうにしていました。

またこの日は、NPO法人陸の宝島よりたんかんの提供もあり、地域の味がたくさん詰まった給食となりました。



宝くじ助成金で地域コミュニティ活動の充実を 平後園振興会、有明・波野地区コミュニティ協議会

宝くじの社会貢献広報事業費を財源として一般財団法人自治総合センターが実施しているコミュニティ助成事業により、平後園振興会は伝統芸能に関わる道具を、有明・波野地区コミュニティ協議会は地域整備に使用する作業用の備品を整備しました。

これにより、今後一層の地域コミュニティ活動の充実が期待されます。



▲平後園振興会



▲有明・波野地区
コミュニティ協議会